

自由詠

ロープウェイで登る
仁田峠
3分間の空中散歩
紅葉も見頃に
いつの間にか秋も深まる



宮島 かつえ

煮物の「アク」を
とれば美味しくなる
世の中の「アク」を
とればいい世の中
なるのになあ

松本 晴美

「かあちゃん、素麺茹でて」と夫
あなたのお母さんじゃないのにと
思いつつ 望み通りに
愛を込めた
呼び掛けだったのかもね

大槻 幸子

コスモスは
あなたまかせに揺れ
可憐に したたそして
強かに根を張る
女性のよう



玉田 久美子

一本の
すすき
銀色に
首 かしげ
秋をさぐる



岡本 まさ子

レポート締め切り間際に
パソコンに向かう私
暖かな窓辺でくつろぐ猫
どちらも
きつと幸せ

杉下 啓恵

題詠『宇宙』

広大な宇宙に
浮かぶ小さな星
いのち
生命育む地球
同じ人間じゃないか
仲良くしようよ



山本 佳代子

雲が流れると
顔をのぞかせた 弓張月
ひんやりとした秋風に
趣きあふれて
しみじみと向き合う



宮島 かつえ

一人一人の
心にも
無限の宇宙を抱けば
どう生きても
面白い

高原 美智子

曇天の帰途いままで見たことのない
美しい、大きな半円の虹
そら
宇宙からの贈りものに
胸を打たれて、ただ見る



一田 千枝子

宇宙はまだまだ
不思議がいっぱい
もつと海の中は
手付かずの不思議に満ちている
想い拡がる

杉本 明美

地球は
宇宙の小さな星
海の水は蒸発
地上と上空の間を循環してる
水が無いのは困るけど 多すぎるのも

大槻 幸子